



2024年 5月18日
第174号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



駅進入中の運転士に管理者が中指を立て侮辱!?

セクハラの次にまたも醜態!!ホーム上のお客さまの目も気にならない管理者!?

5月16日、運転士が駅停車のためブレーキ扱い中、所定停止位置まで約20m手前のところで、運転士に予備の懐中時計を渡すために停止位置付近で待っていた管理者が、突然運転士に対し中指を立てるという事象がありました。中指を立てるという仕草は強烈な侮辱を表すもので、何を意図したかはわかりませんが、どんな理由があろうと管理者が社員に対してこのような行為におよぶことは断じて許されるものではありません。しかも、運転士が一番気を遣う停車直前でのことであり、安全上も看過できません。

この運転士はジョブローテーション施策を担い、異動して8か月となりますが、異動直後から別の**管理者からのセクハラ**にも悩んでいました。その管理者からは謝罪がありました。が、**現場長からも身体的特徴をからかわれる**などもあり、運転士は「JR東労組組合員だから差別を受けている」という怒りと同時に職場のガバナンスが崩壊していることに危機感を持っています。

《経過》

- ・運転士は最初の上り列車で乗り継ぎ交代時に懐中時計を回収するのを忘れる。
- ・懐中時計を取り忘れたことを自職場に正しく報告し、他職場から懐中時計を借り、乗務を継続する。
- ・下り列車で自職場のある駅に到着の際、予備の懐中時計を持ってきた管理者から中指を立てられる。
- ・その際、駅到着の20mほど手前であった。



《イメージ図》

中指を立てたイメージは自粛

「社員は従順であれ」「抵抗しない・させない」「社員には何やってもよい」川崎統括センター「安全研修」と同質の問題だ!

JR東労組横浜地本は、あらゆるハラスメントを許さず安全で安心して働ける職場を取り戻すためたたかいます!